

平成30年度 進路通信 (第6号)	平成30年10月5日(金) 大分県立大分舞鶴高等学校 進路指導部
-------------------	----------------------------------------

夢 拓 く 舞 鶴

感動的な柏葉祭をありがとう

前号で「**全てを通して成長するのが舞高生**」と記しましたが、今年の柏葉祭の準備、そして本番の3日間を通してあなたたちが成長する姿を見ることができました。特に今年は、8月開催で文化の部の準備が始業式後は短かったため夏休みからの準備となりましたが、二日間のグランシアタでの運営と発表は素晴らしいものでした。先を読んで行動できるのが舞高生だと実感しました。実行委員の計画性と牽引力は見事でした。また、体育の部で必死に応援をする3年生の姿も輝いて見えました。三年目となる陸上競技場開催を**全校が一丸となる素晴らしい体育の部**にすることができました。あらためて舞高生のすばらしさを感じることでできる3日間でした。**あなたたちは、舞高生の伝統を立派に継承できています**。胸を張ってください。この秋、このエネルギーを学業の方に向け、将来の夢に近づいてください。

【1年生へ】

2学期が始まり、柏葉祭文化の部・体育の部があり、あっという間に中間考査も終わりました。入学して半年が過ぎ、高校生活も6分の1が終わりました。早いですね。**ここでもう一度普段の学習に対する取り組みを見直してみてください。**

今回は「**問題を解くスピード**」について話をします。普段問題を解くときや文章(英文・古文・漢文・現代文)を読むときに「スピード」を意識していますか?本番の試験ではどの教科も制限時間が厳しく設定されています。入試本番で「時間が足りなかった…あと5分あれば…」という台詞は大変よく聞きます。問題を「素早く」かつ「正確に」解く力が大変重要です。

そのために**普段から自分で「キツメの制限時間」を設定**し、入試本番のつもりで緊張感を持ち、「素早く」かつ「正確に」解く習慣をつけましょう。この問題は〇分で解く!と強い意思を持って取り組んで下さい。適切な制限時間がわからなければ担当の先生に聞いてみましょう。練習で普段からスピードを意識してやっておかないと本番でミスします。3年生は模試等で痛いほどスピードの重要性を感じているはずですが、1年生のときから常に「素早く」かつ「正確に」問題を解くことを意識して勉強しましょう。必ず**実力アップ**につながります。(YK)

【2年生へ】

2学期が始まり、すでに1ヶ月半が過ぎました。柏葉祭からうまく気持ちを切り替え、中間考査を終えることができましたか。多くの生徒は反省すべき点が多々あったはずですが、**やり直しの大切さ**も、もう気づいていますよね。自分自身のいろんな課題を先送りにしてしまっている人も、今なら、2年2学期の今ならまだ間に合います。先日の進路 PTA 資料の最後のページをもう一度見てください。「**高2の2学期から受験を意識して学習を開始できた人**」の合格率は**85%**です。進路 PTA では、修学旅行の話ばかりに集中していませんでしたか。修学旅行前に、コース選択の調査を行います。さらに**10月20日(土)、「夢ナビ」への参加**が企画されています。夢ナビでの経験が進路選択に役立つことと思います。主体的そして積極的な姿勢での参加は、きっとみんなのモチベーションのアップにも繋がります。「何が何でも絶対にここに行きたい!こういうことを大学で学びたい!」が具体的に見えてくれば、「何を具体的にすればいいか」も見えてきます。しっかりと自分自身と向き合って、準備していきましょう。「**実力考査**」、そして「**進研模試**」(デジタルサービスへの入力)への**準備が当面の課題**です。『合格ライン』などを活用し、しっかり計画、目標を立て、取り組んでいきましょう。2年生も、職員室に質問に来る姿が増えてきました。来ていない人、大丈夫ですか。そこで大きく「差」がつけられているかもしれませんよ。(TS)

【3年生へ】

センター試験まで約100日となりました。多くの先生方から「**現役生が伸びるのはここからだ!**」と言われ続けていると思います。その言葉は先生方自身が受験生のときに体験したことであり、これまで先生方が受け持ってきた(みんなの先輩にあたる)多くの生徒が体験してきたことです。その言葉を心の拠りどころにして突き進んでください。**自分を信じ、やるべきことを妥協することなく完璧に行っている者は必ず伸びます。**

学習の中心は授業です。教科書の履修内容を終えて、各教科がセンターや2次試験を見据えた演習に入っていると思いますので、**復習で知識の完璧な定着を図ることが大切になっていきます。特に2次試験に耐えうるための演習に、分かったふりは通用しません。**その日に出会った1問1問と真摯に向き合ってください。10月13日(土)から11月18日(日)まで各大学オープン模試を含めると連続して模試があります。**模試は受験のための最高の教材**です。授業で解説を行う教科もありますが、**自分から先生のところへ質問**に行きましょう。

人間の意志は弱いものです。思い立った決意も、時が経てば土の中に埋もれてしましますが、そのたびに掘り起こしてください。大人だってその繰り返しなのです。その繰り返し頻度が多い人ほど、偉業と呼ばれる結果を残す人になる確率が高いのだと信じて、私も日々過ごしています。**迎えたい場所で春を迎えられるように一緒にがんばりましょう。**(KU)

10・11月行事予定

日	曜	学校行事、1・2年進路行事	3年進路行事
9	火		センターまで100日を切る 3年生模試月間 頑張れ! 66回生!
10	水		
11	木	第2回専門委員会	
12	金	生徒会議案審議	3年第2回学力検討会
13	土		3年進研模試
14	日		
15	月		
16	火	第4回学習時間調査	
17	水		
18	木		国公立大推薦受験者集会
19	金		
20	土	サタセミ1年 2年夢ナビ	3年全統記述模試
21	日		3年大学別フレテスト
22	月	保健講話	
23	火	1・2年実力考査	
24	水	1・2年実力考査	
25	木		
26	金	生徒大会	
27	土	1・2年進研模試	3年全統マーク模試
28	日	2年進研模試	3年全統マーク模試
29	月		
30	火		
31	水		
1	木	全校集会、表彰伝達	
2	金		
3	土	文化の日・サタセミ・科学の甲子園県予選	3年進研マーク模試
4	日		3年進研マーク模試
5	月		
6	火	第2回中高連絡会	
7	水		
8	木		
9	金		
10	土	花いっぱい運動	共通テスト・3年大学別フレテスト
11	日	サタセミ(1・2年)花園予選決勝	3年大学別フレテスト
12	月	修学旅行①16日まで	
13	火	修学旅行②17日まで	
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		3年駿台センターフレ(分大)
18	日		3年駿台センターフレ

【お知らせ】1・2年期末考査、3年卒業考査は
11月29日(木)～12月4日(火)です!

志望理由書に学ぶ！

志望理由書は、推薦入試やAO入試を受験するときに必ず提出するものです。3年生においては、志望理由書を書き上げ出願した生徒やちょうど今、志望理由書と格闘している生徒もいます。しかし、志望理由書が必要なのは3年生だけではありません。1・2年生もこれから自分の進路を考えていく上で重要となってきます。進みたい進路に対してどのくらい強い思いを抱いており、どのように研究しているのか。また、社会に出たらどのような分野で就職し活躍できるのかを考えていくことはとても重要なことです。



2年生は修学旅行を終えたら、受験生へと変貌していかなければなりません。ここから学習意欲を高めて行くには、「志望校へ絶対に合格するぞ」という強い意志が必要です。そのためには、どれだけ深く進路研究をしているのが問われます。**きちんとした志望理由書が書ければ、気持ちも定まってきます。**2年生は1年次からこれまでに三度志望理由書を書いてきています。中身の濃いものへと、また強い思いが込められたものへとなっているでしょうか。

1年生は1学期の「フューチャーファクトリー」で2講座に参加したことにより、2名の方の生き様に触れたことだと思います。あなたたちもいつかは社会人となっていきます。そのときに**どのような生き方をしたいのかを漠然とではあるけれど、考え始めたいと思います。**また文理選択を考えるときに、より具体的に次の進路を探っていることだと思います。1年生もこれから進路研究の仕上げとして志望理由書を書いてもらいます。

また、**良い志望理由書には次のような点が書かれています。**

1. 目指したきっかけは何か。
それがどのようにして確固たる理由になったかがある。
2. 実現のためにどのような努力をしているか。
3. 社会で何をするためにこの学部を選んだのか。
社会状況や社会問題との関わりを掴んでいる。
4. 自分の経験、思いが具体的である。

看護師希望の志望理由書の例

私が看護師を目指す直接のきっかけになったのは、震災の報道番組を見たことでした。そこで紹介された被災地の病院では、大きな被害を受け、震災直後に多くの看護師が離職していきました。悪化する勤務状態に耐えられなくなる人、家族の将来を考えて決心する人、病院の回復の見通しが見えないことに不安を持つ人、理由はさまざまですが、だれもが申し訳ないという気持ちをかかえたまま去っていったのです。やがて、ある程度病院の機能が戻って、自分の気持ちを入れ直した看護師さんが、次々に病院に戻ってきます。お互いに再会を喜び、励ましあって病室の患者さんに向かっていく様子はとても感動的でした。小さいころから、病院に通うことが多かった私は、いつも優しく接してくれる看護師さんに漠然と憧れていましたが、この番組に接して、少しでも人の役に立てる看護師になろうと決心しました。

具体的に看護職について知る必要があると思ったので、近くの総合病院の看護体験に参加しました。2・3日の実習で、アシスタントとして看護師の領域に踏み込んだだけでしたが、医療従事者の心構えや接し方ひとつで、人の人生の一時を共有すると同時に大きく左右する重い職業であることを身をもって経験しました。またチーム医療の大切さも知りました。現在の日本では、看護師の離職率が高く、慢性的な看護師不足になっています。これを職場環境が厳しいためだと言う人もいますが、単に資格が取れるというだけで、この仕事の意義をきちんと実感しないまま就く人が多いことも理由だと思います。それを改善するには、大学での教育が重要です。

その点で、貴学は自発的な学習態度を推奨するとともに、困ったときのサポート体制もしっかりしていると先輩から聞きました。カリキュラム内容も医学・薬学・看護の各学部が結びついた専門職連携教育が展開されており、在学中からチーム医療を経験できるという点も大きな魅力です。私は震災以来、被災地で起きた健康・医療問題の新聞記事を読むようにしています。貴学の医療チームも被災地に何度か向かったことをオープン・キャンパスで聞きました。ぜひ入学して、看護師に必要な知識と技術を身につけ、被災地の復興に少しでも役に立てるようになりたいと思っています。これが私の志望理由です。

教員希望の志望理由書の例

私は将来、小学校の教員になりたいと考えている。その契機となったのは、出身小学校の吹奏楽団への訪問だった。私はトランペットのパート指導と、全体合奏の見学をした。そして、物事を分かりやすく教えることの難しさと伝わった時の充実感を味わうとともに、前に立って全員をまとめる顧問の先生に憧れを抱き、教員という職業に興味を持ったのである。そこで私は少しでも多くのことを学ぶため児童センターでボランティア活動をした。それはさんさ踊りの太鼓を練習する会で、私は主に低学年の面倒を見た。初日では全く叩けず泣いていた女の子が、ゆっくり練習して叩けるようになり、私に笑顔を向けた。「できた！」という表情を見られたこと、その成長に立ち会えたことへの喜びは大きかった。後に私は、子ども達と話す際に難しい言葉を避けていたことに気付いた。「水分補給」を「水を飲む」に、「出席簿」を「名前に丸をする表」にするなど、あまり意識せずとも分かりやすい言葉に変換していたのである。また、初めの頃はみんな恥ずかしがって私の方をチラチラ見るだけだったが、毎日積極的に話しかけると徐々に心を開いていくのが分かった。私の手を引いたり、私をからかったり、私が他の人と話していると焼きもちを焼いたりするようになった。私の動作一つで子ども達の心情が変わるのが不思議であり面白かった。そしてコミュニケーションの原点は言葉なのだと感じた。大学に進学したら、私は教員になるための知識は勿論、言葉からつくられる人と人との関わりや言葉と感情について深く学びたい。心理学など他学科の授業も学ぶことで幅広い知識を持った教員を目指したいとも考えている。貴学でなくてはならない理由は、高い教員採用率と、多くの人との出会いが見込まれる環境である。特に後者に関しては、九つもの学類があることや、様々なゲストを迎える学芸カフェテリアなどが私にとって魅力的だ。沢山の出会いを通して自分の視野を広げることで、それぞれのものの考え方を研究に役立てたい。また私は国語選修で盛んな自主ゼミで日本語学を選択し、日本語の専門知識や言葉とコミュニケーションまたは感情の変化との関係を学びたい。そして将来は、貴学で学んだ知識を活かし、自信を持って指導をし、生徒間のコミュニケーションをサポートできる教員になりたい。以上が貴学を志望する理由である。

～しまれ がんばれ ねばれ おしきれ～

1・2年生のみなさん。表の行事予定を見て何か感じたことはありませんか？ それは3年生の模試の多さです。この10月から11月にかけては、通称「模試月間」と呼ばれ、ほとんど毎週、模試を受験し続けます。夏休みの努力が、どれくらい自分の力として定着しているかの確認と、志望校の分析、そして実力定着が主な目的です。サタセミまで入れるとこの2か月はほとんど休みがありません。でも、3年生は、先輩方がそうしてきたように、歯を食いしばってでもこの2か月を乗り越えます。そして、自分の「夢」へ近づいていくのです。休み時間など廊下等ですれ違ったときに、「先輩、頑張ってください！」と、声をかけてみて下さい。会った時は厳しい表情かもしれませんが、きっと笑顔で応えてくれるはずですよ。「**受験は団体戦**」と言われるますが、**当事者だけの団体ではありません。舞鶴高校全部が1つのチームであることが大切なのです。頑張れ！ 66回生！**